

Vol.202

エーカベニュー
TAKAOKA
オム まちなかステージ

～薩摩琵琶 平家物語を語る～



● 松田 恵水、有澤 結水、嶺 瑛水

琵琶はシルクロードを通して日本に伝来したといわれております。
薩摩琵琶は、戦国時代に武士の修養・士気高揚を目的として、
薩摩地方で造られました。現在の語りは平家物語や能から取り
入れたものが多くありますが、今回は「巴御前」「重衡」「船弁慶」
の猛き者も遂には滅ぶ語りをお聴きいただきたいと思います。

令和7年6月1日(日)

14時開演 13時30分開場

場所 LittleWing ウイング・ウイング高岡
1階交流スペース

入場
無料

エーカベニュー
TAKAOKA
オム まちなかステージ

ライブ配信公開中!

YouTube



当日 14時から
お楽しみください!

【実施主体】高岡市／末広開発(株)／(株)高岡ステーションビル／オタヤ開発(株)／(公財)高岡市民文化振興事業団
【協力】Crossover Project

お問い合わせ: (公財)高岡市民文化振興事業団 事業課 〒933-0023 富山県高岡市末広町1番7号 高岡市生涯学習センター3階

TEL:0766-20-1560 FAX:0766-20-1562 MAIL:shimin@takaoka-bunka.com



1. 巴 御 前

琵琶 松田恵水

巴の前は義仲の愛妾ですが、荒馬を乗りこなし、強弓を引き、かつては一軍率いる美貌の大将でもありました。都を追われる身となった義仲と行動を共にしていましたが、義仲に別離をつけられます。

1184年1月21日、義仲は近江栗津で討ち死にをします。それを見届けた巴は、やがて東国へと逃れたのでした。

2. 重 衡

琵琶 有澤結水

重衡は平清盛の五男で、奈良炎上の時の総責任者でした。その為仏敵と目されていました。

一の谷の戦いで、重衡は捕らえられて頼朝の元へ送られました。この曲は3月10日、鎌倉に送られた時、心慰めようと千手の前が箏を弾くと、重衡が琵琶を奏でたという話です。

この後重衡は、僧たちの要請で奈良へ戻され、千手は白川へと別れます。

重衡死後、千手は尼となり、菩提を弔ったといいます。

3. 舟 弁 慶

琵琶 嶺 瑛水

これは能の「船弁慶」より題材を取った演目です。

壇ノ浦で平氏を滅ぼした源義経も、今は追われる身となり、西国を目指して、淀川を下ります。大物の浦で、義経は静に再会を約して別れを告げます。その時、急ぎ船を出すと水夫たちが騒ぐため、泣く泣くそこを離れ漕ぎ出します

須磨と淡路島の間あたりの海上に、嵐と共にあらわれた平氏の亡霊が、義経等を海の底に引きずり込もうとします。これは人間業ではないと言って、弁慶が祈り除けたのでした。

出演者について

かのう えいけい
加納 瑛恵 : 氷見市在住。琵琶中伝取得。ナレーション担当。

まつだ えすい
松田 恵水 : 小矢部市在住。杉本紫水に師事する。

ありさわ ゆうすい
有澤 結水 : 高岡市在住。富山県邦楽協会代議員。

みね えいすい
嶺 瑛水 : 高岡市在住。高岡市芸術文化団体協議会会員。